



# 教育後援会報

## 京都府立農芸高等学校

第41号

令和6年3月

発行 京都府立農芸高等学校 教育後援会 編集 同事務局

### 多彩な学習と 学校農業クラブ活動

教育後援会長 中井順市



「卒業おめでとうござい  
ます。蛍雪の功成つて卒業  
式を迎えられることに心か  
らお祝い申し上げます。  
みなさんは、どのよう

な道に進まれようとも農業や環境に関する学習活  
動や学校農業クラブ活動を通じて得た科学性、社  
会性、指導性(三大活動目標)という武器と、農  
業という産業が社会に果たすべき目的(食料生産、  
環境保全、素材生産など)や意義を学んだ若者とし  
て、自らが選んだ道において農業や環境、関連  
産業に関する見方・考え方を働かせることができ  
る人材として社会に貢献されることを期待してい  
ます。

さて、農芸高校を卒業した大学生と農芸高校の  
見学研修をしました。彼は来年度の6月に母校で  
教育実習を行います。研修後に提出されたレポー  
トの一部を紹介します。

「農業教育は主に3つの工夫がなされている。  
1つ目は、農業や環境の興味・関心からはじまり  
専門性につなげるということである。先生方は、  
この興味・関心を持たせることを意識して指導し  
ている。入学してくる生徒は様々な志や思いを持っ  
ている。しっかりと生徒を観察して、一人一人が  
興味を持つていることを把握していることである。  
2つ目はプロジェクト学習である。学習課題の設  
定、計画の立案、実施、評価、反省と振り返りの  
サイクルを行う学習活動を行う。この課題の設定  
にはいくつかの課題の中から、興味・関心により  
生徒自らが選択できるようにしていることである。  
3つ目は実践的・体験的な学習活動と地域社会と

結びついた学習活動がリンクしていることである。  
ここでいう「地域」とは、学校を取り囲む地域だ  
けでなく、小学校などの教育機関や大学、企業な  
どをいう。これらの学習活動やそれを支える先生  
方の指導は、農業教育を受けてこそその利点といえ  
るだろう。同じ大学で学ぶ普通科出身の友人は、  
「農業高校へ行つとけば良かった」と言います。  
このことは、農業や環境に関する様々な学習を  
支える学校農業クラブ活動によるものと考えます。  
今後とも生徒のみなさんの学習活動や学校農業ク  
ラブ活動にご理解とご支援をお願い申し上げます。  
また、今年度から船南同窓会と教育後援会、そ  
して学校が手を携えて、生徒の皆さんが在学中に  
職業関係の能力などを高めるための資格取得活動  
を経済面で支える奨学金制度を創設し取り組んで  
います。ただ、資金の調達が年々難しくなってい  
ております。卒業生の保護者の皆さま並びに会員  
の皆さまには、この制度の趣旨と運用にご理解を  
いただき、引き続き更なるご支援を重ねてお願い  
いたします。

### 創立41年目の新たな 歴史を刻む農芸高校

校長 湯川 佳秀



教育後援会の会員の皆  
様には、ますますご健勝  
にてお過ごしのこととお  
喜び申し上げます。日頃  
は、本校教育の推進に温

かいご支援を賜り、心から御礼申し上げます。  
昨年度の創立40周年記念事業に係りましたは、  
教育後援会の皆様より多くのご寄付やお心遣いを  
頂戴し、誠にありがとうございました。おかげさ  
まで、全ての事業を無事終了することができました。

さて、今年度は5月に新型コロナウイルスの感  
染法上の位置づけが5類へ移行したことに伴い、  
様々な教育活動が再開できるようになりました。  
農業クラブ活動においては、校内での活動はもと  
より、7月の京都府連盟大会、8月の近畿連盟大  
会、10月の全国大会に生徒たちが活躍し、それぞ  
れの大会で入賞することができました。11月に  
は第41回農芸祭を実施し、約2,000人の方々  
に来校していただき、大盛況となりました。農芸  
祭では、教育後援会の皆様にも御協力いただき、  
大変感謝しております。12月には2年生の研修旅  
行(長崎県)を実施することができ、天候にも恵  
まれ、充実した研修旅行となりました。そのほか、  
3年生の進路達成の状況とともに、この1年間、  
多くの教育成果が見受けられましたので、詳しく  
は本会報の紙面をご一読ください。  
また、今年度から創立41年目の新たな歴史を刻  
むべく、本校公式Instagramを開設しています。  
「がんばる農芸高校生」の姿を通して、農芸高校の  
魅力とともに、農業教育の魅力も感じていただ  
けるよう発信していますので、是非、御覧ください。  
結びに、教育後援会会員の皆様には、本校教育の  
推進に、今後ともご支援を賜りますよう、よろし  
くお願い申し上げます。

**がんばる農芸生  
START!!**

**資格取得奨励制度**

頑張る農芸生への支援を目的としてスタート  
しました。資格取得にチャレンジし合格する  
と、基金より受験料が補助するものです。生  
徒はキャリアアップを目指しチャレンジして  
います。



研究室訪問(生物工学コース)



流木祭(学園祭)参加(畜産系コース)



酒米「京の輝き」共同研究(作物コース)



大学生の畜産体験実習(畜産系コース)

今年度も京都府立大学と連携協定を締結し、大学訪問で1年生が下鴨キャンパスを訪れたほか、大学生との交流や共同研究なども取り組みました。

### 府立大連携



第50回全国造園デザインコンクールに応募していた環境創造科造園コースの作品「ネコロジー」が、「日本造園建設業協会会長賞」を受賞(部門内最高位)し、東京で行われた表彰式に参加しました。

### デザインコンクール入賞!!

## 令和5年度 農業クラブ活動報告

### 1. 第74回 京都府学校農業クラブ連盟大会(ガレリアかめおか) 7月25日

#### 《プロジェクト発表会》

分野	発表題
I類 最優秀	安心・安全な鶏卵～HACCPを取り入れた養鶏の実践～
II類	小水力発電プロジェクト～エネルギーの地産地消を目指す～
III類 最優秀	めぐる資源・つながる地域～コンポストからひろがる可能性～

#### 《意見発表会》

分野	発表題	発表者
I類 最優秀	僕の夢が酪農の希望となる	坂本 慶榮
II類 優秀	大地のシンフォニー ～for all living things～	佐々木 理来
III類 優秀	人を山へ ～地元への山再生と集落活性化～	佐々谷 蓮太郎



府連大会



和牛審査競技会



緑の学園  
乳牛審査の部

《平板測量競技会》〔北桑田高校〕7月21日  
3年生チーム 白土 惣太、野口 聖斗、山嵜 秀夏  
2年生チーム 岩井 潮、五嶋 奏太、近藤 悠史、  
藤井 隆太郎

《和牛審査競技会》〔碓高原牧場〕7月26日  
【最優秀】坂本 慶榮  
【優秀】伴 藍花、松尾 正鳩真、加藤 佐和子、  
小出 涼太

《緑の学園 乳牛審査の部》〔府立農業大学校〕8月1日  
【最優秀】中井 蒼空  
【優秀】奥本 潤、坂本 慶榮、黒澤 花歌

《農業情報処理競技会》〔須知高校〕  
7月31日京都府予選 【優秀】谷口 康太  
8月25日近畿ブロック予選 【最優秀】谷口 康太

### 2. 第71回 近畿学校農業クラブ連盟大会(京都府) 8月23、24日

《プロジェクト発表会》  
【優秀】I類 畜産流通コース

#### 《意見発表会》

【優秀】I類 坂本 慶榮 【優秀】III類 佐々谷 蓮太郎

### 3. 第74回 日本学校農業クラブ全国大会(熊本県)10月24～26日

#### 《家畜審査競技》

【優秀】肉用牛の部 坂本 慶榮

#### 《農業鑑定競技会》

【優秀】園芸 橋本 滯佳 【優秀】農業土木 近藤 悠史



全国大会  
家畜審査競技

全国大会  
農業情報処理競技

全国大会  
農業鑑定競技

### 4. 第1回 京のこだわり畜産物レシピコンテスト

【最優秀】佐々谷 蓮太郎、松本 順俊

### 5. 各種資格試験に挑戦

- 危険物取扱者試験 ●日本農業技術検定 ●初級バイオ技術者認定試験 ●測量士補 ●室内園芸装飾技能士 ●日本語ワープロ検定試験・表計算・文章入力スピード検定 ●鉄筋施工技能士 ●造園技能士 ●造園施工管理技術検定 ●土木施工管理技術検定 ●トレース技能検定 ●刈払機取扱作業安全衛生教育 ●フォークリフト(1t未満)の運転の業務に係る特別教育 ●クレーン(5t未満)の運転の業務に係る特別教育 ●小型車両系建設機械(整地等3t未満)運転の業務に係る特別教育 ●ボイラー取扱技能講習 ●ジュニア豆腐マイスター認定講座

### 6. 今年度を振り返って

今年度の農業クラブ全国大会熊本大会は、通常の競技種目に加えて家畜審査と農業情報処理も開催されました。家畜審査は乳用牛、肉用牛ともに府内で最優秀となり出場権を、農業情報処理は府内で優秀、近畿ブロックで最優秀となり出場権を得ました。

ここでは農業クラブ連盟の活動を中心に紹介しましたが、これ以外にも学校全体で様々な活動に取り組んでいます。その中で生徒は多くのことを学び成長していきます。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

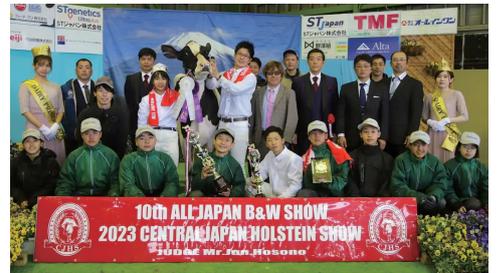
「ニュージールランド大使館賞」  
（デジタルコンテスト）

慶應義塾大学SFC研究所が運営する「全国農業高校・農業大学校デジタルコンテスト」において、ニュージールランド大使館賞（2022年度）を受賞しました。

このコンテストは、農業IT分野の産業連携、将来の農業の担い手として期待される農業高校で学ぶ生徒の活動や農業への夢や希望を応援するために毎年開かれており、「スマート農業の取組がホームページで確認でき、未来的な農業を実践していることが分かる」といったコメントをいただきました。副賞として、生徒2名が昼食会に招かれ、大使館のデイビッド・アレン第一次産業参事官や、エデュケーション・ニュージールランド駐日代表、慶應義塾大学SFC研究所、農林水産省の就農・女性課、ゼスプリインターナショナルジャパン株式会社の方と会食させていただきました。生徒が英語で学校説明をしました。アレックス参事官からは、「この賞の受賞理由が分かる発表だった」と評価していただきました。

中国地区・全日本B&W

4月に岡山県で開催された第38回中国地区ブラック&ホワイトショウに、自家産牛であるフィラ号が総合1位のグラントチャンピオンを獲得し、最優秀高校賞（9回目）も受賞しました。フィラ号は、静岡県で開催された第10回全日本ブラックアンドホワイトショウにおいても、総合2位であ



全日本ブラックアンドホワイトショウにて

るリザーブグランドチャンピオンのタイトルを獲得しています。令和2年度の学科改編により、畜産コースの生徒も授業の一環として取り組み、畜産部員と合わせて10名が参加しました。京都農芸の生徒・牛のすばらしさを畜産業界に響かせることができたと感じるとともに、「全国2位の牛がいる京都府」となったことは、生徒・教職員、学校としても大変誇らしく思います。

また、畜産部顧問団が「令和5年度文部科学大臣優秀教職員表彰」をいただきました。このような、名誉ある賞をいただくことになり大変光栄です。皆さまの物心両面からの御支援の賜であり、この場をお借りして、深くお礼申し上げます。これからも更なる飛躍に向けて、農芸高校の教育環境は全国一を目標に教育活動を進めていきます。

「つながる地域」草花コース

草花コースはシクラメンの栽培を中心に健康な植物の栽培方法に重点を置いた高品質な鉢花・花苗栽培を目指すことで、植物の生理と環境要因との関係など幅広い学習を進めています。また、地域連携もこれまで以上に力を入れて、草花の魅力を外部発信できる力を育てています。

今年度は「めぐる資源・つながる地域」コンポストからひろがる可能性」と題し、都ホテル京都八条との連携から始まったコンポストの開発と活用に関する研究成果や、コンポストの普及活動

について取り組みました。草花栽培と直接的な関係が少ないからこそ、草花との関連性を考えるきっかけになり、普及のために楽しむための工夫が必要であることなど、生徒達の考え・意識の変化を実感することが出来ました。



また、連携協定を結んだ京都府立大学の精華農場では、切り花を栽培されており、この夏に3年生が採花から調製までを経験し、草花に関する学びの幅を広げることが出来ました。今後は大学生が本校に來校するなど、相互の施設活用にも発展させていく計画です。今後の地域連携として、現在亀岡市・湯の花温泉京都畑河と三者で連携活動を始めます。今後も生徒の成長の場を提供できるように挑戦を続けます。

農場HACCP認証（肉用牛）取得、  
和牛甲子園入賞

今年度も、畜産流通コースは和牛甲子園に出場する。取組みは昨年度に取得した経験を活かし、今年度は区分・肉用牛での農場HACCP認証取得への挑戦と、京都の和牛肉の普及に向けた活動を行った。

HACCPでは、教員・生徒ともに、昨年から携わっていたため、何をすべきかが始めから明確であった。採卵鶏よりも作業や資材等の種類が多いためなどから、作成すべき書類の数は瞬く間に膨大な数になったが、無事提出し、11月24日に現地審査を迎えることができた。同時期に3年生で飼育していた和牛の1頭を出荷した。出荷した和牛は無事にA5ランクの肉となり、物産市場フェリオ（ガレリアかめおか）や、京都府農林水産フェ

ステイバルで販売した。また、みのるダイニング（京都ポルタ）と都ホテル京都八条では本校の和牛を料理で提供して頂いた。いずれも「きれいな良いお肉やねー！」「柔らかくて美味しかったよ！」との声を頂いた。

農場HACCP認証は1月11日、全国の農業高校初の区分・肉用牛での認証を取得することができ、和牛甲子園では、取組部門「審査委員特別賞」、枝肉部門「優良賞」を受賞した。3年畜産流通コースの生徒は、本当によく頑張ってくれました。お疲れ様でした。ありがとうございました。



南丹市新庁舎記念モニュメント竣工式

南丹市から新庁舎モニュメントの台座製作依頼を受け、地域に根ざした教育活動をモットーに環境創造科造園コース3年生の生徒が施工実習に取り組み、9月7日に完成することができました。参列した新庁舎竣工式典には、誇らしい生徒たちの姿があります。その様子は、緊張しつつもやり遂げた満足感とその振る舞いは社会の一員として、逞しく見えた瞬間でした。モニュメントの完成度や対外的な緊張感、そして地域を担う技術者としてのプレッシャーを撥ねのけ、やり遂げてくれました。



# 第41回農芸祭報告



昨年度、コロナ禍以前とは少し形を変えて復活させた農芸祭。農場生産物の販売だけではなく、来場者の方々に農芸高校での学びを展示や体験をおして披露する、今年もそ

んな農芸祭を企画しました。  
まず、農芸祭に向けて士気を高める前日祭。販売イベントで知り合った南丹市出身のアーティスト五美ひろえさん、前田葵さんが出演してください、ライブステージで大いに盛り上がりました。本部役員手作りの応援うちわもライブの盛り上げに一役買いました。そして迎えた11月18日(土)の農芸祭当日、「One for All, All for One (41)」みせつけろ農芸魂」のスローガンのもと、約2000人の来場者を迎え、日頃の実験・実習の成果を府民の方々に披露することができました。



特に露地野菜の販売ブースでは、列が途切れず、販売終了時間を待たずに売り切れるという盛況ぶりでした。教育後援会の皆様には、府内農業高校特産物販売ブースの運営を、船南同窓会役員の方々、農業クラブ本部役員とともにお世話になりました。木津高校の茶、美山分校の天日干し米、綾部高校のポインセチアなど、本校では生産していない魅力的な特産物をほぼ売り切っていたいただきました。府内農業高校特産物販売ブースは次年度以降も継続できればと考えておりますので、その際は運営に協力していただければ幸いです。

# 部活動 および 農業クラブ 専門委員会

## 硬式野球部



硬式野球部は夏に行われる選手権大会での1勝を目標に、日々厳しい練習に取り組んでいます。昨年度は17年ぶりに1勝することができましたが、今年度は力及ばず1回戦での敗退となりました。しかし、例年より1年生の人数が多いこともあり、3年生が引退した後の秋季大会を数年ぶりに単独チームで出場することができました。これもひとえに今までの農芸高校野球部を創り上げてきた卒業生や先生方、そして皆様の御支援のおかげと感謝をしております。来年度も引き続き単独チームとして出場し、再び「夏1勝」を達成することを、選手・顧問一同本気で目指しています。今後も硬式野球部への御理解・御協力を宜しくお願い申し上げます。

## 陸上競技部

陸上競技部(フィールド競技部門)は、3年生2名、2年生2名、1年生1名で、また、投擲部門で1年生が2名活動を行いました。陸上競技部(スポーツクライミング部門)は3年生4名で活動を行いました。4月春季大会などで記録を残し、自らの課題を見つけている選手や、外部施設のカメロックスで、スポーツクレンジング競技を取り組み、筋力増強を行う生徒

## サッカー部

もいました。また、夏以降、やり投げに臨む生徒が増え、春季大会に向けて、毎日練習しています。生徒の活躍のために今後とも御支援のほどよろしく願います。

平素より、サッカー部の活動に御理解、御協力を賜り、心より御礼申し上げます。今年度当初は部員11名からの立ち上げで、新入生5名を迎え、部員16人で選手権大会をはじめとする公式戦に単独チームとして出場することができました。また、昨年度は出場することができなかった高田宮杯JFA U-18サッカーリーグにも出場することができ、少ない部員数ですが、単独チームとして出場できることが部員にとって大きな経験となりました。来年度は、今年度の経験を活かし、公式戦で勝利することを目標に日々精進してまいります。農芸高校サッカー部では、サッカー選手としてだけではなく、たくましい人間として成長に努めています。高校からサッカーを始めた部員が半数を占めますが、一人一人が成長するために努力をしています。「農芸高校のサッカー部はみんなよく頑張っている」そう思われる部活動を部員・顧問一丸となつて目指します。今後と



もサッカー部への御支援、御協力の程宜しくお願い申し上げます。

### パワーリフティング部

パワーリフティング部は現在、2年生2名と1年生4名で活動しています。今年度は、2・3年生が5月の関西高校大会、7月の全日本高校大会の2大会に出場しました。また、1月14日に開催された関西高校大会において、1年生が初めての大会出場を果たしました。3月には高校選抜大会と、ジャパンクラシック(8月にトルコで開催される世界クラシックサブジュニア大会への出場権を争う選考大会)が開催予定です。この2大会において、高校生ノトップ、そして世界で活躍する選手となることを目指して、今後も練習に励んでいきます。パワーリフティング部はこれからも「心優しき力持ち」として、ただの力持ちではなく、人としての成長を目指します。今後とも御支援の程、よろしくお願いいたします。



### バドミントン部

今年度は1年生のみの5名でスタートしました。全員が初心者で基礎から日々練習に励んでいます。平日はほぼ毎日練習を行い、11月の京都府高等学校新人大会(学校対抗)から公式戦に出場するようになりまし。12月の口丹波高等学校大会ではシングルで1回戦勝利を取った生徒も多く、念願の1勝を糧にこれからも部活動に励み競技力の向上並びに人間としての成長

長を目指します。後援会の皆様の引き続きの御支援をよろしく願います。

### バスケットボール部

バスケットボール部は現在、2年生2名、1年生5名、マネージャー1名の8名で活動しています。昨年度は部員が少なく、合同チームで公式戦に何とか出場するという状況でしたが、5名の1年生が入部してくれ、インターハイ予選、府立校大会、ウィンターカップ予選と公式戦に出場することができました。また、ウインターカップ予選では、10年以上ぶりに公式戦で一回戦突破を果たすことができました。チームの士気も上がってきているように感じています。今後とも応援してもらえる部活動を目指して、メリハリのある活動を心がけていきます。



### 硬式テニス部

硬式テニス部は、本年度は1年生男子6名が入部し、公式戦での全員勝利を目標に活動してきました。昨年度部員が0になりましたが、1年生が自分たちでクラブを一つから建て直すべく自主的に練習に励み、初心者ながら公式戦に参加した全員が初戦突破を果たすことができました。また、園部高校・亀岡高校両テニス部との合同練習

試合なども行い、口丹地域のテニス活性化とレベルアップに向けて取り組むこともできました。春のインターハイ予選での勝利を目標に頑張る所存です。引き続きのご支援よろしくお願いいたします。

### 剣道部

剣道部では、部員4名、顧問3名、コーチ1名で、日々稽古に取り組んでいます。今年度のI日予選では、創部以来初の団体戦勝利を収めることができました。段位取得にも積極的に取り組んでおり、部員1名が高校生の最高段位となる三段を取得しました。高校から剣道を始めた部員も初段を取得し、来年度は二段に挑戦します。顧問・コーチを含め3名の有段者がおり、指導体制も充実しています。また、顧問自身も昇段を目指し、稽古に参加し、生徒たちと切磋琢磨しています。夏季休業中、他校の剣道部と本校で合同合宿を行っています。150名近くの剣道部員が集まり、剣を交えることで、心身共に鍛える機会となりました。人数は少ないですが、休日は他校へ出稽古や練習試合に行くなど、部員たちは、大会・昇段に向けて日々頑張っていますので、今後とも応援をよろしくお願いいたします。



人数は少ないですが、休日は他校へ出稽古や練習試合に行くなど、部員たちは、大会・昇段に向けて日々頑張っていますので、今後とも応援をよろしくお願いいたします。



### 卓球部

今年度の卓球部は1年生が1名所属しています。中学校での部活動経験者ですが、基本技術の習得を目指し、「1セット、1点でも多く取る」という気持ちで練習しています。部活動だけでなく学習活動にも力を入れ、学業との両立を目指しています。今後とも応援をよろしくお願いいたします。



### 茶道部

2年生3名、1年生1名の計4名で、裏千家・西岡正代先生の御指導のもと、毎週水曜日の放課後に活動しています。お茶の作法とおもてなしの心を学ぶため、集中して稽古に取り組むよう常に心がけています。しっかりとお茶の作法を学び、来年度はどこかでご披露できればと考えています。今後とも温かい御支援をお願い申し上げます。



### 合唱部

合唱部は現在2年生2名で活動しています。毎週金曜日は亀岡高校で合同練習を行うっており、舞台上に上がるなど発表を行うときには実質十数名の合唱団となります。現在は例年行う亀岡高校・農芸高校合同の定期演奏会(3月26日実施予定)に

向けて、「オペラ座の怪人」やビゼーの「カルメン」など、華やかに聴き応えのある舞台となるよう練習に励んでいるところですよ。



昨年度まではコロナ禍によって思うような活動が出来ませんでしたが、今年度からは地域のお祭りなどでも歌を披露する機会が増えてきました。仲良く、楽しく、何より聴いてくださる方々のためにこれからも心を込めて歌いたいと思いますので、応援よろしくお願いします。

### 植物バイオ部

無菌操作による植物の増殖や、温室での種とり、花壇の作成など行ってきました。ペチュカリアやビンカなどの育種も継続的に取り組んできました。次年度に向けて、また新しい花を咲かせていきたいと思っています。

### 草花部

草花部では授業で関わる事が少ない植物を栽培し、その活用方法に至るまで「草花と関わる経験」を積んでいます。今年度は3年生6名、2年生1名、1年生4名で活動しました。ロスフラワーを使ったハーバリウムは地域に広まっており、ハーバリウム講習会に指導者として参加しました。今年度はUVレジンやクリスマスリースづくりといった新たな草花の活用方法に挑戦しました。花壇苗の栽培管理は部員のみで行い、責任を持って栽培した花苗で校内花壇の植栽や近隣の保育園の花壇づくりに活用するなど、草花部の花々が地域を彩る機会が多くなりました。園部中学校との交流会もあり、地域とのつながりを生徒も実感しています。

た、農芸祭では草花部の作品展示会を実施し、草花部の活動を広報しました。部員は「たくさんの人に喜んでもらうために」と楽しみな取り組みをしながら活動に支援いただけることで、部員の関心をさらに刺激し農芸高校の専門部だからこそできる経験を積むことができています。今後ともよろしく願っています。



### 畜産部

畜産部は、男子3名、女子2名の計5名で活動してきました。京都農芸は京都府で唯一の畜産が学べる学校です。畜産部では「365日の徹底した飼養管理<sup>※1</sup>」をテーマに掲げ、畜産の知識や技術をより専門的に、より深く学んでいきます。今年度在籍する5名は、家畜飼育はもろろんのこと、多岐にわたる活動に積極的に挑戦してくれました。農業クラブ大会(プロジェクト発表・意見発表・家畜審査競技会<sup>※2</sup>)やインターンシップ(京都市動物園・近隣酪農家)など、自らの可能性を広げるために努力し続けています。生き物を相手にする部活動なだけに大変なことも多いですが、畜産部で培う「人間性」や「社会人基礎力」を武器に、広い世界へ大きく羽ばたいて欲しいと願っています。今後も精進して参りますので、変わらぬ御支援・御鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

※1 家畜飼育の性質上、活動は3605日である。生徒の休みは申告制としている。  
※2 家畜審査競技会(肉用牛の部に生徒1名が優秀賞(全国2位)に輝いた。)

### 野菜部

野菜部では、「おいしい野菜づくり」をテーマに活動しています。主な活動時間は火・木曜日の放課後としており、自主性を重んじた野菜の栽培に挑戦しています。春から夏にかけてはカボチャやカラピーマン、トウガラシなどの栽培管理を行い、秋から冬にかけては、タマネギやニンニクの定植、ブロッコリーやカリフラワー・サツマイモの収穫を行いました。季節折々の野菜に触れ合い栽培する楽しさを体験できたと感じています。来年度も部員が楽しんで野菜栽培に取り組める環境を整えたいと考えますので、引き続き御支援の程よろしく願っています。

### 造園部

造園部では技術習得を目指し、造園技能検定取得に向けての取り組みや、校内に植えられた樹木の剪定作業、実習場の管理、施設の改修・補修など、日々の校内美化活動にも取り組んでいます。本年度も校内整備として校内樹木の剪定を中心に管理作業を行いました。校外活動は、近隣寺院の庭園の管理を任せていただき、技術の向上とともにボランティア精神を養うことができ地域貢献することができました。また、第61回技能五輪全国大会(愛知県)においては造園部から京都府代表として2名1チームが出場しました。競技会場のコンディション不良の中、最年少出場でありながら最後までやり遂げる事ができました。残念ながら目標の入賞は逃しましたが、この経験を活かして次回入賞を目指します。



### 環境部

環境部では今年度も農業クラブ平板測量競技会に向けての活動、専門的な資格取得や校内環境の整備に取り組みました。7月に平板測量競技会の京都府大会が北桑田高校で実施され、本校からは3年生1チーム、2年生1チームが出場し、大会まで練習を重ねましたが入賞には至りませんでした。資格取得は、2・3級鉄筋技能検定の合格を目指しコツコツと練習を重ね、校内環境整備も除草作業や樹木剪定など様々な活動に取り組ましました。環境部での活動を通し、この1年で専門性を高めることができました。



### 情報処理部

今年度は、1年生3名の新入部員が加わり、2年生3名、3年生8名を合わせ14名で活動しました。ワープロや表計算のスキルアップや検定試験、農業情報処理競技会に向けた練習を行い、オープンスクールの部活動体験では、中学生と保護者の方に丁寧な説明する様子がありました。農業情報処理競技会京都府大会には3名が出場し、3年生1名は優秀賞となり、近畿大会では最優秀、熊本県で開催された全国大会にも出場することができました。1・2年生は、3年生の姿を目標に、農業情報処理競技会での入賞を期待します。



教育後援会 事業及び会計報告

令和4年度 教育後援会 事業報告

Table with 4 columns: 月日, 事業名, 内容. Lists activities from April to April, including school events, meetings, and financial reports.



令和4年度 会計決算

収入総額 1,701,254円 - 支出総額 1,566,766円 = 差引残額 134,488円 (次年度へ繰越)

収入の部

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 決算額, 比較増減, 備考. Lists income items like membership fees, donations, and grants.

支出の部

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 決算額, 比較増減, 備考. Lists expense items like office expenses, travel, and educational activities.

令和4年度 特別積立金報告

Table with 5 columns: 科目, 繰越額(a), 本年度積立額(b), ※寄付(c), 積立金合計(a)+(b)+(c). Shows special reserve fund details.

令和5年度 教育後援会 事業計画

- List of activities for the next year, including support for student education, international exchange, and school events.

活動計画

Table with 4 columns: 月日, 事業名, 内容. Lists specific activities and dates for the next year.

令和5年度 会計予算(案)

収入の部

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 決算額, 比較増減, 備考. Shows proposed income for the next year.

支出の部

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較増減, 備考. Shows proposed expenses for the next year.

● 会費及び寄附金についてお願い ●

Text explaining the association's financial structure and the importance of membership and donations.

- 一般会員寄附金 1口 1,000円
■ 在校生・在職教職員会費 年7,700円
■ 卒業生・卒業生保護者会費 5,000円・3,000円 (卒業時に納入)

\* 京都府立農芸高等学校教育後援会振替口座番号(京都 01080-1-9234)

# 令和5年度 3年生進路決定状況

令和6年1月15日現在

## I. 進路希望状況

学科	就職	進学	未定	合計
農業生産科	2	10	0	12
(男子)	2	7	0	9
(女子)	0	3	0	3
園芸技術科	8	12	0	20
(男子)	5	10	0	15
(女子)	3	2	0	5
環境創造科	12	5	0	17
(男子)	11	5	0	16
(女子)	1	0	0	1
合計	22	27	0	49

## II. 就職内定状況

内定者実数 \*右記企業名は順不同

学科	農建設造園	製造	運輸通信	卸小売	サービス	福祉	公務員他	合計
農業生産科	0	2	0	0	0	0	0	2
園芸技術科	0	4	1	1	1	1	0	8
環境創造科	5	5	0	0	2	0	0	12
合計	5	11	1	1	3	1	0	22

- 【農・建設・造園】株式会社きんでん、住友林業ホームエンジニアリング株式会社、株式会社吉川組、庭匠廣田造園、株式会社斉藤造園
- 【製 造】株式会社湖池屋《4名》、株式会社鶴屋吉信《2名》、日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社、株式会社創味食品、能勢・大成化工株式会社、株式会社キョーテック、京都エレクトロン株式会社
- 【運輸・通信】帝産観光バス株式会社
- 【卸・小売】京都生花株式会社
- 【サービス】西日本高速道路メンテナンス関西株式会社《2名》、サンロイヤルホテル亀岡駅前(株式会社サンロイヤル)
- 【福祉】社会福祉法人清水福祉会特別養護老人ホーム城東さくら苑

## III. 進学合格状況

延べ人数 \*右記学校名は順不同

学科	国公立大学	私立大学	短期大学	農業大学校	専修各種学校	合計
農業生産科	0	7	1	0	2	10
園芸技術科	0	5	1	1	5	12
環境創造科	0	3	0	0	2	5
合計	0	15	2	1	9	27

- 【私立大学】日本大学(生物資源科学部)、龍谷大学(農学部)、佛教大学(社会福祉学部)、花園大学(文学部《3名》・社会福祉学部)、摂南大学(農学部)、京都文教大学(臨床心理学部)、東京農業大学(国際食糧情報学部)、酪農学園大学(環境共生学類《2名》)、京都芸術大学(芸術学部)、長浜バイオ大学(バイオサイエンス学部)、大阪学院大学(経済学部)
- 【短期大学】華頂短期大学(幼児教育学科)、京都西山短期大学(仏教コース)
- 【大学校】岡山県立農林水産総合センター農業大学校
- 【専修各種学校】京都コンピューター学院《3名》、京都自動車専門学校、京都建築大学校、辻調理師専門学校、日本軽種馬協会(生産育成技術者課程)、京都デザイン&テクノロジー専門学校、大阪ハイテクノロジー専門学校(バイオ再生医療学科)

### 台湾の高校とのWEB交流会



毎年交流している国立曾文高級農工職業学校(台湾)とのWEB交流を1月11日に行いました。参加した生徒会メンバーは、台湾の生徒たちと英語で学校紹介や自己紹介、Q&Aなどを楽しみました。

### スクールミーティング



京都府教育委員会の教育長と教育委員の方が来校され、スクールミーティングを行いました。温室や農業機械などの施設と生徒の授業の様子を見学後、学校の取組等について教員と意見交流を行っていました。

### 京都の農業を熱く語るトークセッション



府内で活躍される方々から講演を聴き、それぞれの専攻コースに分かれて、お米や野菜・花の農家さんや牧場・造園を営む方、府の研究機関の方とフリートークを行いました。

### インターンシップ

夏休みを中心にインターンシップに参加し、各コースの専門性を高めました。

[畜産系コース]

牧場(兵庫県淡路島)1名、京都市動物園1名

[草花コース]

花屋(京都市左京区)4名

[農業土木コース]

京都府建設業協会指定企業5名



### Instagram始めました!!

今年度から農芸公式Instagramを始めました。写真だけでなく、動画でも本校の学びの様子を伝えています。生徒も学習内容などを頑張って説明していますので、是非フォローしてください。また、ホームページも農芸日記のページなどを日々更新しています。HP・Instagramともに、多くの方の閲覧をお待ちしております。

